

岡山県青年会会報

岡山県青年会学生幹事長挨拶
学生幹事長 山本 景斗



運営につきましては、都内に設置されている同県出身者のための4つの学生寮、育英会東京寮、精義塾、備中館、鶴山館の学生が中心となつて行っています。4寮は、野球大会・フットサル大会・青年会総会・岡山県人会等の交流を通し、互いに切磋琢磨し、各々の道に向かい大学生活を有意義に謳歌しております。近年は岡山県と岡山県青年会の共催で「おかやま業界研究会（東京開催）」なども行っております。

また、岡山県青年会を通じ、岡山ゆかりの各界でご活躍の方々や世代を超えた深い交流をさせていただくなど様々な経験により多くのことを学ばせていただいております。この貴重な経験も郷土の先輩方のこれまでのたゆまぬ努力のおかげであり、学生一同感謝しております。

新入生と卒業生の状況

平成30年3月には、青年会から18人の学生が社会へ巣立って行きました。一人ひとりが、青年会活動を通し学んだことを活かして、更なる成長を遂げることを祈っております。

4月には、新入生が加わり、青年会通常会員（学生）は110人となりました。異なる価値観を持った学生達が相互の理解を深め、様々な困難や喜びを体験することができるのも青年会ならではです。多くの友人と交わり、自己研鑽の場として活用されることを期待します。

平成30年7月に西日本において記録的な豪雨が観測され、その被害は範囲にわたり、郷土である岡山も甚大な被害をうけました。被災された方、ご家族、関係者の皆様には心からお見舞い申し上げます。岡山は災害が少なく安全な街と言われておりますが、近年多発している「異常気象」がもはや「普通」になりつつある今、防災への意識を見直す時なのではないかと思っております。そして、被災地の一日も早い復興を心から願っております。

岡山県青年会は、東京に住む岡山県出身の大学生を対象とする「通常会員」とご支援くださる「特別会員」の皆さんにより構成されています。

発行者 岡山県青年会
編集 公益財団法人備中館



■平成29年度 卒業生の状況■

	首都圏	岡山県	その他の地域	計
岡山県育英会東京寮	2人	3人	1人	6人
鶴山館	4人	1人	—	5人
精義塾	6人	—	—	6人
備中館	1人	—	—	1人
寮生以外	—	—	—	—
合計	13人	4人	1人	18人

■平成30年度 会員の状況（平成30年4月1日現在）■

	1年	2年	3年	4年	大学院	計
岡山県育英会東京寮	12人	5人	5人	9人	9人	40人
鶴山館	8人	8人	9人	11人	—	36人
精義塾	4人	2人	4人	3人	—	13人
備中館	3人	3人	3人	4人	2人	15人
寮生以外	—	1人	2人	3人	—	6人
合計	27人	19人	23人	30人	11人	110人

いくためには、今日の「まちおこし」事業などのように、自分たちで地域を作り上げねばならない。

そのためには一人一人が「おらが町」への誇りを持つていることが必要不可欠だ。地方出身の同人土が誇りを持って自分の地域の方言で話し合い、かつ相手の方言ひいては地域も最大限にリスベクトできる。夢物語でも何でもなく、そんな姿が東京のような大都会でも見られる日が来ることを心から願っている。

心の奥底では岡山こそがわが祖国と想っていると思っていたがそれはなぜだろうか。言うまでもなく、それは精義塾のおかげである。改めて精義塾に感謝したい。

黒川優剛（平成29年度卒塾）

備中館の先輩から

今年は大変な猛暑という事もあり、折に触れ寮生の身を案じておりました。ようやく夏も終わり過ぎ易い季節になりましたが、寮生は元気に過ごしているのでしょうか。きっと酷暑を乗り越えるために色々試行錯誤するものの、寝苦しい夜が続いたことと思います。

自身の寮生時代を思い起こしますと、それなりに苦労して凡そ苦しい出の方が多いはずなのに「備中館は本当にイイ寮だったなあ」と、今ではすっかり思い出が美化されております。県人寮のイイところは、多様な価値観に採まれることのできる点にあると考えます。岡山県の

英知が集う県人寮ではトイレ・風呂共同利用という、各々が密接に関わり合う空間で、自分では到底至らないような考えを持ち合わせる先輩や後輩から話を聞くことができずし、共同生活を送る中で意見が衝突しても、お互いが納得できる形で解決策を見出す力を身に付けることができます。当然、備中館に限らず他の県人寮でも同じように学べると思います。後輩には、自分たちが歩んできた道のりに対して、県人寮卒であるということに誇りを持って就活に臨み、何事にも挑戦して欲しいと思います。そして、これからも県人寮は故郷岡山から東京へ進学を希望する志の高い学生の期待に応えて欲しいと願っております。また、甘ったれな私を根気強く指導してくださいました寮の先輩方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

最後に私が社会に出て最初に困ったことを挙げますので、少しでも参考になればと思います。寮生時代が終わりまずと社会人生活最初の4月〜6月は引越し費用や一人暮らし用の家具の購入などで切羽詰まったその日暮らしの日々が続きまので、今から確りと備えておくこと良いです。それを乗り越えたと扱えるお金が桁違いには行きませんが、少しずつ増えるので生活も楽になると思いますし、身の回りの生活用品や買う食材が少しずつ良くなって行くなど「勢い」を肌で感じる毎日とはとても刺激的で楽しいです。頑張ってくださいね。応援しています。

大森基晶（平成28年度卒館）

事務局からのお知らせ

■新規会員の募集

岡山県青年会の通常会員は、岡山県出身の学生です。男女は問いません。

育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館に入寮している学生以外の方も、岡山県青年会に入会いただけますので、学校や知人等で入会を希望される学生がおられましたら、事務局までご連絡ください。入会金は不要で、学生の方（通常会員）の年会費は無料です。

■特別会員の方へ維持会費（年会費）納入のお願い

学生寮を巣立っていかれた先輩方や、岡山県出身の学生を応援くださっている方に、特別会員になっていただき、岡山県青年会の運営のご支援をいただいています。特別会員の皆様には、青年会の維持会費（年会費）として一口5千円のご支援を今年もよろしくお願いいたします。

事務局連絡先

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館 10 階
岡山県東京事務所内
岡山県青年会事務局
TEL: 03-5212-9080
FAX: 03-5212-9083
メール: seinenkai@pref.okayama.jp

岡山県	育英会東京寮	〒108-0074 東京都港区高輪 3-14-21 TEL:03-3441-3195 【HP】 http://www.okayama-ikueikai.jimusho.jp/ryo01.htm	鶴山館	
	精義塾	〒112-0006 東京都文京区小日向 1-21-13 TEL:03-3947-6565 【HP】 http://www.seigijuku.org/		備中館
		学生寮の問い合わせ先		
		〒202-0013 東京都西東京市中町 5-10-8 TEL:0424-22-5951 【HP】 http://park19.wakwak.com/~kakuzan/		
		〒112-0001 東京都文京区白山 4-8-4 TEL:03-3947-1549 【HP】 http:// 備中館.jp/		

育英会東京寮の先輩から

①寮生活を振り返って

東京寮では、6年間生活しました。6年間ではさまざまなことがあり、寮の仕組みも変わりました。辛いこともたくさんありましたが、よく声をかけてくれる先輩後輩がいてくれたことで寮生活も楽しいものとなりました。また、集団で生活するというなかなか経験のできないことができました。1人で東京に出てきて大学に通ったが、帰って誰かがいるという生活はよかったです。そんな中で、私が懲罰委員会委員長になったときに、寮生活規則を大幅に変えて、その時の委員会メンバー同士で協力して寮をより良くしようと団結した記憶があります。総合的に寮生活を振り返ると、寮で生活したことはよかったです。

②現役寮生に対するメッセージ

まずは、同期・先輩・後輩誰でもいいのでよく話をする人を見つけてことが大事なのではないかと思えます。また、寮生活の輪を乱すようなことはやめてほしいと思っています。というのも、寮生活の中には行事があると思えます。その行事に無断で休む、協力しない等の行動は慎むべきであると思えます。また、普段の生活の中でも、ゴミは分別する、夜に大声で話をする等の行動はやめてほしいと思えます。これらのことは寮で生活

をしていつも思っていました。今でもこれらは、問題に上がっているのではないのでしょうか。私が規則を変えたというのは、自分がより良く生活するために変えた。もちろん、勝手に無断で変えたわけではなくて、みんなで話し合いました。もし、寮生活の中で不満があれば、協力者を集めて現代に合った寮にし、よりより寮生活が送れるように寮を変えていきたいと思います。

窪田大祐（平成29年度卒寮）

鶴山館の先輩から

皆様いかがお過ごしでしょうか。鶴山館を卒館してから早くも4ヶ月が経ちました。現在、私は都内のIT企業で社員をしています。つい先日、毎夏恒例の納涼祭（と言う名のビアガーデン）に参加したりと、まだまだ鶴山館は身近な存在であります。卒館した人間を代表して青年会報に拙文を寄せさせていただければと思います。

これは入社が決まってから知ったことですが、実は私が勤める会社には植田さんという5年上の鶴山館の先輩がいらっしやいます。現在たいへんお世話になっていきます（先日も飲みに連れて行っていたきました）。これは本当に偶然の出来事として、実際に、植田さんの代は私が入館した際に卒館された代のため、

め、在館時はお名前を伺ったことがあるくらいで、初めてお会いしたのは社員総会の懇親会の時でした。ですので、お世話になった鶴山館をきっかけに、こうした良い御縁に恵まれてたいへん嬉しく思っている今日この頃です。

この「御縁」について、私はとても大切に感じていまして、鶴山館の生活を通してその気持ちは一層に強まりました。鶴山館では毎年正月に津山で新年会が開催されますが、これは鶴山館の年内行事の中でも最も多くの先輩方にお会いすることが出来る会でもあります。館長先生の挨拶に始まり、ひとしきり歓談があるのと、途中から在館生を皮切りに全員がステージに上がって自己紹介をする時間が始まります。毎年さまざまな先輩方の自己紹介（+近況報告+昔話）を聞くことになるのですが、私はこの時間がとても好きです。なぜかと言いますと、多くの方々が過去を振り返り、鶴山館をきっかけとした御縁のお話をされるからです。「私は〇さんのおかげで今がある」「あの人にお世話になった」といったお話を聞いて、10年、20年、30年、40年、50年、60年後に、自分にはどういった御縁が待っているのだろうと想像してしまいます。

私はいずれは家業を継ぐ身であるので、いつか岡山に帰ることになりますが、おそらく東京で生活している以上に御縁

に恵まれるチャンスがあるだろうと密かに期待しています。これは鶴山館にとどまらず、大学時代という大青春時代を東京で過ごした岡山人全員に言えると思います。そういった意味では、この青年会という組織は非常に重要な役割を果たしていますね。しばらくは東京での生活が続きますが、これからの御縁のためにも、鶴山館をはじめ、この青年会をハブにさまざまな同胞たちと関わりを持ち続けてゆきたいと思えます。それではこれからもどうぞよろしくお願いたします。

黒住忠且（平成29年度卒館）

精義塾の先輩から

近代国家が成立したことで、日本人から「備前国」といったローカルな国家観は完全に消滅したのだろうか。そんなことは断じてないはずだ。

今でも故郷や田舎と書いて「くに」と読ませる表記は散見されるし、お年寄りの中には、都道府県単位を回答として想定しながら「あなた、国はどこだね」という人も少数ながらいるであろう。そういった点では、個人レベルでは意識の奥深い部分にローカルな意識が根付いている人も多いと思う。

これから人数減少により地方部の衰退に歯止めがかからない中、地方が都心部に負けないくらい存在感を発揮し続けて

平成29年度 岡山県青年会総会

平成29年12月5日（火曜日）の夕刻、岡山県と鳥取県の共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」（港区新橋）において、各界で御活躍される郷土岡山県出身の諸先輩方にも多数お集まりいただき、岡山県青年会総会を開催しました。

総会は宮原耕治会長（日本郵船（株）相談役）の挨拶で始まり、前島亮学生幹事長の挨拶、出席者の紹介、総会議事（事業報告、会計報告など）を行い、全ての議事が承認されました。

引き続き行われた講演会では、「元気な日本を願って」という題で、日中経済協会顧問の岡本巖氏（旧赤磐郡布都美村出身）から、御講演をいただきました。通産省入省から資源エネルギー庁長官を経て現職に至るまで長年にわたり日中経済に関わってこられたご経験から、中国の経済発展の原因と今後の見通しや課題について具体的にお話しいただきました。

今後の日本経済再生に向けては、「日本は食料やエネルギーなど自給できるものが少ない。日本が元気でいるためには、イノベーションと海外でしっかり稼ぐ力が必要。その点で、中国は日本・世界にとって最大の機会であり、ライバル。中

国といかに付き合っていくかが重要。」と語られました。

また、「何より大切なのは、国民の様々なレベル、分野での交流が双方向に進み、相手に対する認識・理解を深めること。皆さんも機会があれば、中国に限らず、ぜひ外国に足を踏み入れ、直に見聞きする機会を持つて、グローバルな視野で学生生活、社会人生活を切り開いていってほしい。」と学生に対してエールを送られました。

講演後、学生を代表して、前島学生幹事長がお礼を述べるとともに、「私たちがこれから歩む道は、過去に人々が歩んできた道とは異なっているかもしれないが、新しい道を切り開くため、先人たちの歩みをたどり、それを教えとして現在の課題を見つめ、未来へ向けて克服する創造力、対話力を磨いていきたい。」と力強く抱負を述べました。

その後、行われた懇親会は、岡崎助一副会長の発声による乾杯で始まり、会場を爆笑に包んだ学生会員の余興や岡山食材をふんだんに使った美味しい食事を楽しみながら、先輩方や同輩達と歓談の輪を広げ、親睦や交流を深めました。最後に守分宣副会長による中締めをもって、盛況のうちに総会は終了しました。



前島学生幹事長による挨拶



日中経済協会顧問 岡本 巖氏による講演会



和やかな雰囲気の中、懇親会がはじまる



懇親会での学生会員による余興

球技大会 & 業界研究会

青年会では、会員相互の親睦を図るため、フットサルやサッカー大会などの球技大会を行っています。

平成29年5月28日（日曜日）、鶴山館コート（西東京市）において、フットサル大会を開催しました。約40名の学生会員が参加し熱戦が繰り広げられました。その後、会場を鶴山館ロビーに移し、フットサルの打ち上げを兼ねた懇親会を開催し、交流を深めました。

また、平成30年2月15日（木曜日）には、新荒川大橋サッカー場（北区）にて、サッカー大会を開催しました。寒空の中、熱戦が繰り広げられ、参加した会員約35名は、ケガもなく、スポーツを通して大いに交流を深めました。

業界研究会

平成30年1月13日（土曜日）、都道府県会館（千代田区）において、首都圏在住の大学生に県内企業の情報を提供し、今後の進路検討や社会人としての心構えを学ぶ「おかやま業界研究会」を岡山県と連携し、企画・開催しました。

参加した約50名の学生は、製造、建設、百貨店、不動産、金融、マスコミ、公務それぞれの業界の特徴や近況を担当者に説明してもらい、質疑やインターンシップの相談にも応じていただきました。



業界研究会会場の様子



企業担当者と学生の活発な質疑応答



サッカー大会集合写真



土煙あがる白熱した試合展開



フットサル大会集合写真



フットサルは、鶴山館コートにて開催

近況報告 精義塾

公益財団法人精義塾の近況報告をさせていただきます。私、精義塾で寮長を勤めております京野と申します。精義塾は今年度春に新しく4名の塾員を招き、現在12名で寮生活を過ごしています。私願いたします。

3年生 京野啄守

一回塾員会議を行い、今住んでいる塾員に合ったルールを決めたり、寮の保全、地域の方との交流について話し合っています。例えば、精義塾の最近の大きな変化は、バイトなどでまかないを食べており、寮での食事をする人が減りました。その結果業者に委託するお金が無駄であったので、業者と解約し大幅な寮費削減を行いました。その結果現在二万五千円を寮費とし生活しております。そのほかにも、ここ数年、寮に住み二人部屋をいたくなくという受験生の声が多くあり、寮を運営することが出来なくなってしまう事に危惧し精義塾は二人部屋をなくし、一人部屋にする事に決まりました。

この4寮の中で精義塾の特徴として、週一回の会議で顔をあわせ、飲み会をしている事、塾内行事がたくさんある事、キッチンで一緒にご飯を作って食べる事など、人と人との関わりが大変多いところが特徴だと感じております。そして私たち精義塾の周りには沢山の県人寮があ



り、広島、愛知、岐阜、奈良、愛媛の県人寮生との関わりも活発にあります。

私たち精義塾は青年会を通じて、より多くの方との交流を可能にしていきたい

近況報告 備中館

今春備中館では卒館者2名、入寮者3名となり、現在15名の寮生を中心に活動しています。新寮生を迎え、より活気づいた昨今の備中館の近況を簡単に紹介させていただきます。

まず寮内での生活の様子を簡単に紹介すると、備中館は卒館された方々の支援を受けつつ学生中心で運営される自治寮で普段は共用空間で生活を共にする事で寮生間の仲を深めています。また寮の規律や開催イベント等を話し合う場として総会を定期的に開催しており、各人がより良い寮生活が送れるように努めています。

寮で開催する行事としては新入生を迎える入館式、卒館者の門出を祝う卒業式、寮創立を祝う記念祭、またこれらの前日に開く寮生でのパーティー、寮に隣接する小石川植物園周りを走るマラソン大会や日帰りの春旅行と泊まりで出掛ける冬旅行があります。加えてバーベキューや鍋バ、ボーリングなど各自が考えたイベントも昨年より月一回開催されるようになり、新入寮生にとっては特に同学年はもちろん他学年の人とも気が置けない関係を築く絶好の場として有意義なものとなっています。

次に対外的な行事としては、備中館を含む東京の岡山県人寮4寮対抗でフットサルや野球などのスポーツ大会を開催し

同年代の同郷の人との仲を深めています。また青年会総会や吉備クラブでの様々な来歴の岡山の諸先輩方との交流や青年会主催の岡山縁の企業研究会は我々学生にとって多くの選択をとりうる中で自分の将来を考えあぐねている人も多い事もあり、自分の将来を見据える良い機会となっています。

最後になりますが、備中館は不安を抱え上京してくる学生を温かく迎え入れる活気ある寮でありつつ、岡山の代表としての岡山県人寮だという自覚を持ち規律ある寮を目指して邁進していきますので今後ともよろしくお願いいたします。

3年生 西村壮史



近況報告 岡山県育英会東京寮

岡山県育英会東京寮の近況報告をさせていただきます。昨年度までは入寮者の減少に悩まされていた本寮であります。今年度は入寮者12人と昨年度の約2倍の入寮者を招き入れることとなりました。また今年度から新たな寮長さんを迎えることとなり、東京寮にとって大きな変化の年でありました。

今年度も、初めは新しい環境や仲間との存在にギクシャクしたこともありましたが、6月はじめの山手線一周によって、新人寮生間や先輩・後輩間で仲を深めることができました。昨年度からの変更点として、学生服の代わりに、寮生がデザインしたオリジナルTシャツを着用して走ることになり、今年度もそれを継続して行いました。その際、新人寮生が自分たちのTシャツを新たにデザインし、自分たちの代専用Tシャツを作って、山手線一周に臨みました。残念ながら途中で負傷してしまった人がため、全員揃って完走とはならなかったものの、助け合って走った仲間同士、特に同じTシャツを着て走った新人寮生同士の仲は大いに深まったように感じました。

また、今年起こった西日本豪雨災害に対して、鶴山館が中心となって行った青年会主催の募金活動に東京寮も参加し、品川駅と新橋駅にて活動を行いました。駅周辺にて、寮生が声を張り上げて募金活動への協力をお願いしたところ、連日の報道のおかげもあって、駅周辺を通行

していた多くの方が募金活動に協力してくださりました。

最後になりますが、建物の外観は時代を感じさせる古き良きこの東京寮にも、時代の変化とともに新しい風が吹いています。それは風呂場や洗濯機、電子レンジなどの設備の新調といった物理的な面もそうですし、山手線一周などの行事といった、いわゆる東京寮の伝統という面でもそうです。今後も今までの良い面は取り入れながら、また少しずつ新たな風習を取り入れつつ、この東京寮をより良いものにしていけたらと考えています。

3年生 占部智之



近況報告 鶴山館

鶴山館の紹介をさせていただきます。今年度は7名の新人館生を迎え、総勢35名で活動しています。我が寮では多様性を重んじています。運動部に所属し、六大学野球に出場する学生や文化活動、ボランティア活動にいそしむ学生など各々が幅広い分野で活動しています。そのような多種多様な学生も寮内では毎月一度の例会を通して、寮生同士の結束を高め、円滑な寮運営に努めています。

2年生 笹井健司

鶴山館は、保谷（現西東京市）に移転してから約30年になるうとしています。フットサル兼テニスコート付きということで、青年会主導の岡山4寮対抗フットサル大会の会場として、この鶴山館を使用しています。毎年大変盛り上がり、4寮の良い交流の機会となっています。

他の寮の皆さんから設備が綺麗だと褒められることも多い鶴山館ですが、実は、昨年あたりから急に設備の欠陥が目立ち始めました。古くなった設備は年月をかけて徐々に改修していく予定です。また、今年の5月にはwifi設備も大規模に改修し、各部屋で一台ずつ無料のルーターを設置されるなど設備の近代化にも努めています。学生の住環境の改善に向けて寮を運営する財団と学生自治会が一丸となって活動

しています。

大学に入ればさまざまなコミュニティに属することになると思います。その一つとして偉大なOBの方々や恵まれた寮生のいる鶴山館は、大学生活を充実させる上で大切な拠点になると思います。今後もしっかり寮になっていくよう、努力していきたいです。



世代を越えた県人との交流

青年会では、学生同士だけでなく首都圏で活躍されている先輩方との異世代交流会・懇親会等に積極的に参加するとともに、スタッフとして準備・運営にも関わります。

平成29年9月1日（金曜日）には、ザ・キャピトルホテル東急（千代田区永田町）において開催された在京の岡山県出身者等の親睦を深める「県人の集い」に11名の会員が参加しました。

当日は、運営スタッフとして、参加者お土産の準備やステージ補助、抽選商品受け渡しなどの業務を担いました。

また、岡山ゆかりの年配者と若者との世代を超えた交流の場となる「吉備クラブ」には、各回で多くの会員が参加しました。各界でご活躍の先輩方から大変興味深いお話を聞くことができるよい機会となっております。

○第35回

開催日：平成29年7月10日（月曜日）
講演会：講師 山海 嘉之（筑波大学サイバニクス研究センターセンター長）
参加者：25名



ベネッセホールディングス福原賢一氏による講演（第37回吉備クラブ）

○第36回

開催日：平成29年11月7日（火曜日）
講演会：講師 定塚由美子（厚生労働省社会・援護局長）
参加者：9名

○第37回

開催日：平成30年1月31日（水曜日）
講演会：講師 福原 賢一（株）ベネッセホールディングス代表取締役副会長）
参加者：13名
（開催場所は、いずれもKKRホテル東京（千代田区））



しっかりと青年会活動をPR（第35回吉備クラブ）



第35回吉備クラブ懇親会の様子



抽選商品受け渡しのお手伝い（県人会）



県人会会場の様子